

大会運営規定

1. 球場等の開門は午前7:30とする。
2. 各チームは試合開始60分前までに集合すること。
3. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
4. 試合中ダックアウトに入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計31名以内とする。また、上記の上記の他に熱中症対策要員として、チーム関係者2名のベンチ入りを認める。
(男女を問わないが成人であること)
5. 大会運営上、試合前のシートノックを行わない。
6. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。
但し、天然芝上では行わないこと。
7. 試合はトーナメント方式6回戦とし、決勝戦を除き4回以降7点差、降雨・日没のコールドゲームを適用する。また、1・2回戦については3回以降10点差のコールドゲームも適用する。
8. 全ての試合において、90分を過ぎて新しいイニングに入らないものとする。
9. 規定のイニングを終了、または、時間切れ同点の場合はタイブレイク制を適用する。
{*タイブレイク制}
継続打順の無死一二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、順次前の打者とする。
10. 投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - ・ 同一日における投手の投球数を70球以内(4年生以下は60球以内)とする。
但し、試合中規定投球数に達した場合、その打者の攻撃中に攻守交代となるか打撃を完了するまで投球できる。
 - ・ 一週間における投手の投球数を210球以内(4年生以下は180球以内)とする。
11. 指名打者制を採用する。(公認野球規則5.11)但し、大谷ルールは採用しない。
12. 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球J号とする。
13. メンバー表は6部提出し、前の試合の3回終了後、大会本部にて交換する。
(必ず、フリガナを付けること。)
14. 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード・ファウルカップを必ず着用すること。
15. 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付き公認マーク入りのものを使用すること。
16. 出場選手及び監督、コーチはユニフォームを着用すること。
(背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とする)
17. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
18. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
19. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。

